令和5（2023）年度採用分　KU-DREAM申請書

研究課題名：

審査区分番号：中区分　　　，小区分

※令和5（2023）年度科研費公募要領による審査区分の番号を記入してください。

1. 申請者A(KU-DREAM研究員申請者）情報等

|  |  |
| --- | --- |
| (フリガナ)氏名 |  |
| 学歴（学部・修士） | 1. 　　　年　　月　　　　大学　　　部　　　学科卒2. 　　　年　　月　　　　大学大学院修士（博士前期）課程入学　　　　研究科　　　　　専攻 |
| 学歴（博士） | 1. 入学年月日：　　　年　　月　　入・進学2. 編・転・再入学時の在学期間換算：　　年　　ヶ月3. 大学院名：　　　　大学大学院4．研究科名：　　5．専攻名：　　　6．課程種別：（番号）1) 博士課程（３年制）･･･区分制博士課程の後期課程、後期３年課程のみの博士課程2) 博士課程（５年一貫制）･･･５年一貫制博士課程3) 博士課程（医･歯･薬･獣医学系４年制）･･･博士(医学),博士(歯学),博士(薬学),博士(獣医学)等を授与する４年制の博士課程4) 外国における博士課程7. 学位研究の指導者：(所属機関・部局) 　　　　　　　　（職名） 　　　　 (氏名) 　　　　　　　　　　　　7．修了・退学等： 8. 学位論文名：9．学位取得日：　　　　年　　月　　日（学位番号　　　　　　　）10．休学期間合計：　　年　　ヶ月11．令和５年４月１日時点における博士在学期間累計（休学期間を除く）： |
| 研究・職歴等 | 記入スペースが足りない場合は適宜、欄を増やしてください。（頁数の制限はありません）1.　　　年　　月～　　年　　月　　　　　　　　　　　　　　　　　　2.　　　年　　月～　　年　　月　　　　　　　　　　　　　　　　　　3.　　　年　　月～　　年　　月　　　　　　　　　　　　　　　　　　日本学術振興会特別研究員採用歴ＤＣ：　　　　年　　月～　　　年　　　月ＰＤ：　　　　年　　月～　　　年　　　月ＳＰＤ：　　　　年　　月～　　　年　　　月ＰＲＤ：　　　　年　　月～　　　年　　　月 |
| これまでの研究活動の成果物（論文等） | 記入スペースが足りない場合は適宜、欄を増やしてください。（頁数の制限はありません）*成果物（論文等）を記入する場合は、それらを同定するに十分な情報を記入してください。**（例）学術論文（査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。）**著者、題名、掲載誌名、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年を記載してください。**（例) 研究発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。）**著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。）* |
| 受賞歴等 |  |

２．申請者B(受入れ教員)情報等

|  |  |
| --- | --- |
| (フリガナ)氏名 |  |
| 所属部局 | 鹿児島大学　　　　　　研究科　　　　　　　　専攻　 |
| 研究・職歴等 | 1.　　　年　　月～　　年　　月　　　　　　　　　　　　　　　　　　2.　　　年　　月～　　年　　月　　　　　　　　　　　　　　　　　　3.　　　年　　月～　　年　　月　　　　　　　　　　　　　　　　　　4.　　　年　　月～　　年　　月　　　　　　　　　　　　　　　　　　5.　　　年　　月～　　年　　月　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 専門分野と主な業績 | 研究分野：主な業績（論文・特許等）：　論文については、直近５年間の査読付英文原著論文のうち、代表的と思う20編を発表年月の新しいものから順に連番を付して記載し、それぞれに直近のインパクトファクターと被引用回数を併せて記入すること。　また、当該論文が、Top10％論文である場合は、末尾に「Top10％論文である」と記入し、Top10%ジャーナル（高インパクト雑誌）に掲載された論文である場合は、末尾に「〇〇（JCR又はScopusの別を記載）における△△（当該小分野名を記入）分野で90パーセンタイル以上である」と記入し、共に番号の前に※を付すこと。（詳細は募集要項及びKU-DREAM運用要領を参照）　記入スペースが足りない場合は適宜、欄を増やしてください。（頁数の制限はありません） |
| 申請者Aとの関係および受入れ体制・研究環境 | 記入スペースが足りない場合は適宜、欄を増やしてください。（頁数の制限はありません） |

**３．研究計画**※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、本項目は申請者A(KU-DREAM研究員申請者)および申請者B（受入れ教員）が十分に相談の上、共同で作成してください。

**(1) 研究の位置づけ**

　申請者Aが申請者Bと共に取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。また、申請研究課題を遂行するうえで、当該受入研究室で研究することのメリット、新たな発展・展開についても明記してください。本項は１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

**３．【研究計画】（続き）**※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、各事項の字数制限はありませんが、全体で３頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

**(2) 研究目的・内容等**

　① KU-DREAM研究員として取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。

　② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。

　③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。

　④ 申請者B自身又は受入れ研究室で行っている研究や申請者Aの研究の発展性だけでなく、KU-DREAM研究員を受け入れることにより期待される、申請者B（研究室）の研究に対する影響、相互作用、波及効果についても明記してください。

**４．申請者Aによる研究遂行力の自己分析**※各事項の字数制限はありませんが、全体で２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

　当該分野における (1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」、のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・下記（１）及び（２）の記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。*

*なお、研究中断のために生じた研究への影響について、特筆すべき点がある場合には記入してください。*

**(1) 研究に関する自身の強み**

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・記述の根拠となるこれまでの研究活動の成果物（論文等）も適宜示しながら強みを記入してください。*

**(2) 今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素**

**５．申請者Bによる申請者Aの人物評価等**

各事項の字数制限はありませんが、全体で１頁に収めてください。

KU-DREAM研究員申請者の(1)「研究者としての強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、具体的に入力してください